

# 詔

シヨウ  
みことりの

12画  
言 訃 詔 詔 詔

なりたち 詔と言との会意形声字。天子が群臣を召して告げる言葉のこと。みことりの・天子の命令。秦(始皇)の始皇帝によって初めて使われ、以後そのようになった。



いみじゆく  
▼みことのり。天子の命令。詔書：一般に公示される天皇のことは記した文書。詔勅：詔書と勅書。天皇の考えを述べた公文書。大詔：天皇が国民に告げることはを記した文書。

# 詔

# 紹

シヨウ

11画  
糸 糸 糸 糸 紹 紹

なりたち つなぎ結ぶ意味の糸と召との会意形声字。二人の人をまねいてその両者を結ぶという意味の字。縦に結ぶと受けつぐこと。横に結ぶと引き合わせることを。



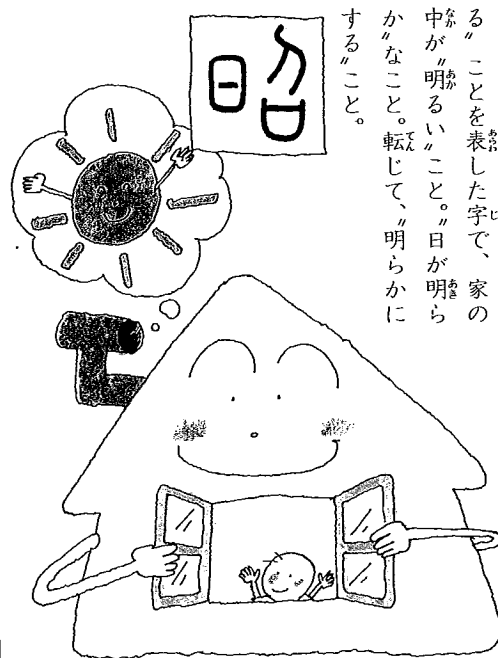
いみじゆく  
▼受けつぐ。▼引き合わせる。紹介：互いに知らない者同士を引き合わせることを。なかだち。また、まだ知られていないものの内容を人々に知らせること。【用例】新製品を紹介する。

# 昭

シヨウ

9画  
日 昭 昭 昭

なりたち まねく意味の召と日との会意形声字。家の窓をあけて、日の光をまねき入れることを表した字で、家の中が「明るい」こと。日が明らかかなこと。転じて、「明らかにする」こと。



いみじゆく  
▼あきらか。▼よく治まる。平和である。昭代：良い政治が行われよく治まっている時代。また、その時代をほめて言うことば。昭和：世の中がよく治まって平和であること。また、日本の現代の元号に用いられている。

# 照

シヨウ

13画  
日 昭 昭 照

なりたち 火を燃やす意味の火と昭との会意形声字。火をどんと燃やして、あたりを「明るくする」ことを表した字。"てらす"こと。また、"てり輝く"こと。転じて、"てらしあわせる"こと。



いみじゆく  
▼照る。照り輝く。照明：光で明るく照らすこと。【例】照明灯・照明係。照射：光が照りつけること。また、光をあてること。残照：日が沈んだ後でも山頂などに照り映えて残っている光。

▼てらしあわせる。照合：くらべ合わせて正しいかどうか確かめること。照応：二つのものが互いに対応していること。特に文章の前後が互いに整って応じて合っていること。照会：問い合わせること。対照：①二つのものを互いにくらべ合わせることを。②二つのものが互いに際立って違っていること。【例】対照的参照：参考とするために他のものと照らし合わせることを。

# 昭

# 照

